

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 26日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都中央区日本橋2-5-1
日本橋高島屋三井ビル21F
氏名 日興プロパティーズ株式会社
代表取締役社長 井上 明

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	日興プロパティーズ株式会社 代表取締役社長 井上 明				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都中央区日本橋2-5-1日本橋高島屋三井ビル21F				
主たる事業の業種	大分類	K 不動産業、物品賃貸業			
	中分類	69 不動産賃貸業・管理業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	4,901	kl	自動車の台数	台

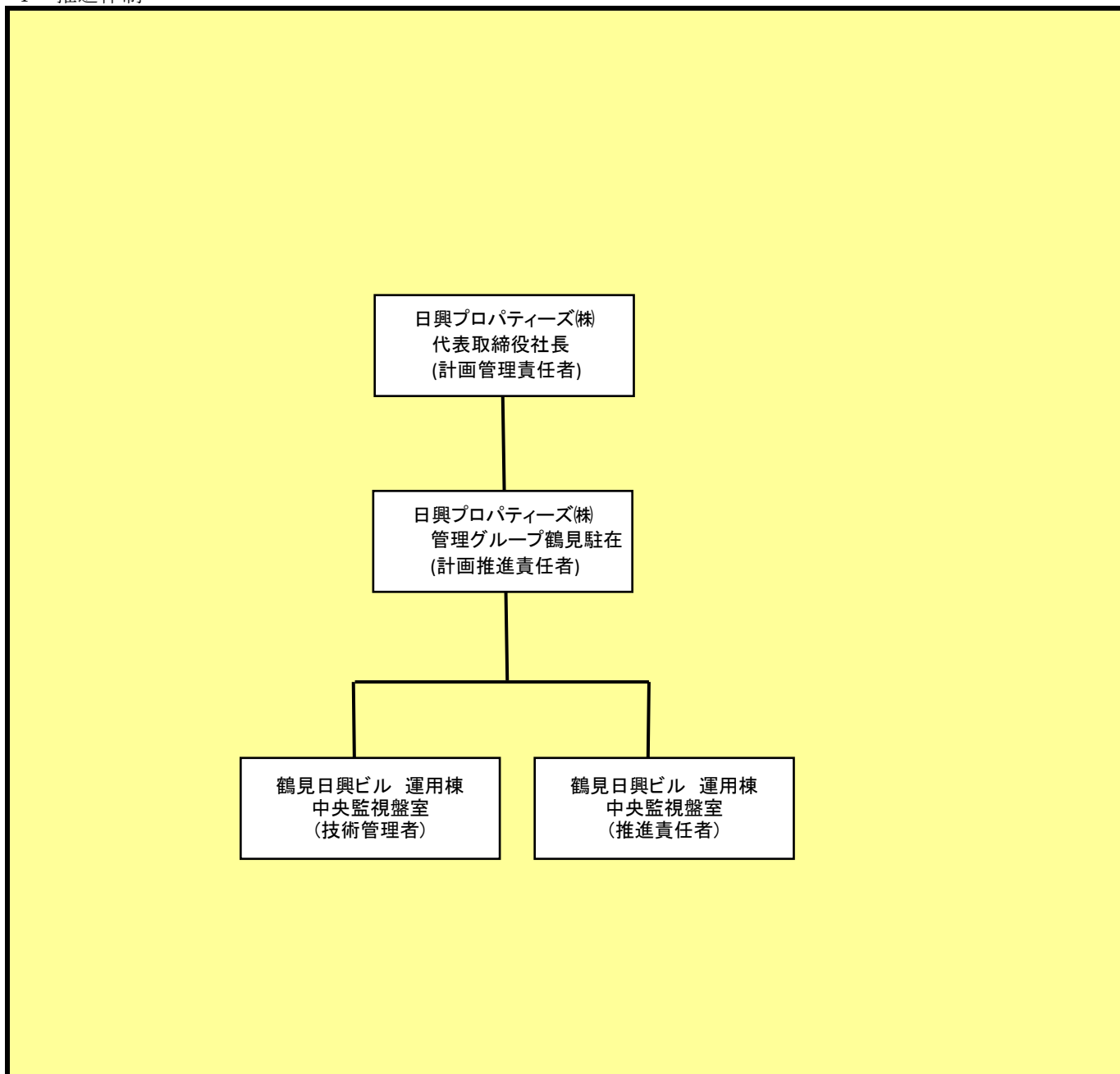
2 計画期間及び実施年度

計 画 期 間	2016	年度 ～	2018	年度	実 施 年 度	2018	年度
---------	------	------	------	----	---------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業活動・オフィス活動の中で積極的に環境保全への配慮を行い、省エネルギー・省資源等の活動を推進します。 ・環境・エネルギーに関する法規制その他の要求事項を遵守し、環境汚染の防止を図ります。 ・施設の運用管理に携わる者として、環境負荷を減らし環境にやさしい施設を目指します。 ・省エネルギー・設備の長寿命化・廃棄物の削減、地球環境との共存を目的に施設運営を推進します。 ・エネルギーに係る法規制を遵守し、エネルギーの削減に努めます。 ・主に照明設備において省エネルギー効果のあるものへの更新を検討中 <p>【主要なエネルギー使用設備の更新等の検討】</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 照明設備</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 高効率機器への未実施箇所あり</p> <p>③設備更新スケジュール H28年度照明器具等更新計画 H33年度までに実施</p>

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	鶴見日興ビル 中央監視盤室
	所在地	神奈川県横浜市鶴見区大東町12-12 鶴見日興ビル運用棟1階
	閲覧可能時間	9:00～17:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	13,831	t-CO ₂				基準原単位	3.95	t-CO ₂ /千KWH
	調整後	13,598	t-CO ₂				目標原単位	3.50	t-CO ₂ /千KWH
目標年度 (2018年度)	目標排出量	13,500	t-CO ₂	削減率	2.4 %	目標原単位	削減率	11.4 %	
排出の抑制に係る 目標の設定の考え方	熱源・空調設備機器の更新は概ね完了したので今後は運用管理面で排出の抑制に努めたい。								
事業者全体としての 目標等	今後も設備機器更新の際は省エネに有効な機器の導入に努める。								
第一年度 (2016年度)	排出量	11,641	t-CO ₂	削減率	15.8 %	排出原単位	3.33	t-CO ₂ /千KWH	
	調整後	11,336	t-CO ₂	削減率	16.6 %		削減率	15.7 %	
目標等の達成状況 及び説明	熱源・空調設備機器の運用管理面で排出抑制に努めた。								
第二年度 (2017年度)	排出量	10,215	t-CO ₂	削減率	26.1 %	排出原単位	2.92	t-CO ₂ /千KWH	
	調整後	9,621	t-CO ₂	削減率	29.2 %		削減率	26.1 %	
目標等の達成状況 及び説明	引き続き、熱源・空調設備機器の運用管理面で排出抑制に努めた。								
第三年度 (2018年度)	排出量	9,974	t-CO ₂	削減率	27.9 %	排出原単位	2.85	t-CO ₂ /千KWH	
	調整後	9,173	t-CO ₂	削減率	32.5 %		削減率	27.8 %	
目標等の達成状況 及び説明	引き続き、熱源・空調設備機器の運用管理面で排出抑制に努めた。								
計画期間全体の排出 状況に関する説明	期間の全体を通して熱源・空調設備機器の運用を工夫し削減に繋がられました。								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量				基準原単位			
	調整後	t-CO ₂			t-CO ₂ /			
目標年度 (年度)	目標排出量	t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /		
	調整後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /		
	調整後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /		
	調整後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上	1	12,320	1	10,386	1	8,976	1	8,714
1,500k l 以上 3,000k l 未満	0	0	0	0	0	0	0	0
500k l 以上 1,500k l 未満	1	1,511	1	1,255	1	1,239	1	1,260
500k l 未満	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	13,831	2	11,641	2	10,215	2	9,974

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度									
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	0/2	—	2017年度		引き継ぎ作成中	実施済	2/2	—	2017年度		引き継ぎ作成中	実施済	2/2	—	年度		
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施中	実施済	2/2	—	年度		図面整備済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施中	実施済	2/2	—	年度		全熱交換機の活用 CO2濃度制御の適正な設定	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施中	実施済	2/2	—	年度		ポンプの Vベルト化	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		在室者(予定)の把握 設定温度の厳格化	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	該当事業所なし		非該当	/	—	年度	該当事業所なし		非該当	/	—	年度	該当事業所なし	
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/2	—	2021年度	更新検討中	H33年度までに更新予定	実施中	0/2	—	2021年度	H33年度までに更新予定		実施中	0/2	—	2021年度	2021年度までに更新予定	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施中	実施済	2/2	—	年度		停止機器の主電源管理	実施済	2/2	—	年度			実施済	2/2	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 8/8 ※伊・冷凍機	—	年度		運転管理	実施済	(設備の種類) 8/8 ※伊・冷凍機	—	年度			実施済	(設備の種類) 8/8 ※伊・冷凍機	—	年度		
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 6/6 冷凍機	—	年度		適正な温度設定	実施済	(設備の種類) 6/6 冷凍機	—	年度			実施済	(設備の種類) 6/6 冷凍機	—	年度		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 2/2 ※伊	—	年度			実施済	(設備の種類) 2/2 ※伊	—	年度			実施済	(設備の種類) 2/2 ※伊	—	年度		
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 2/2 ※伊	—	年度			実施済	(設備の種類) 2/2 ※伊	—	年度			実施済	(設備の種類) 2/2 ※伊	—	年度		
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施中	実施中	(設備の種類) 2/6 ヘッダー・バルブ	—	2018年度		計画中	実施中	(設備の種類) 2/6 ヘッダー・バルブ	—	2018年度		昨年度と同じ	実施済	(設備の種類) 6/6 ヘッダー・バルブ	—	2018年度		バルブ部の保温を実施。
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度	
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度	
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	801	東京電力エナジーパートナー
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	エコ商品の積極的な使用に努めました。 リデュース、リユース、リサイクルの推奨に努めました。 エネルギー管理士等の取得を推奨し、省エネに対する意識・知識を持って運用に努めました。
計画期間内に実施する対策	引き続き、エコ商品の積極的な使用・3R等、CO2削減を心がける。 省エネに対する意識と知識の取得に努める。
第一年度実績	環境にやさしい資材(洗剤等)の使用に努めました。 機材を手入れし出来るだけ長く使用することにつとめました。 省エネ、地球温暖化対策に関する講習会資料の情報共有し、省エネに対する意識・知識を活かしました。
第二年度実績	環境にやさしい資材(エコ商品)の使用・購入に努めました。 機材を手入れし出来るだけ長く使用することにつとめました。 省エネに関する情報共有し、意識・知識を活かしました。
第三年度実績	引き続き、環境にやさしい資材(エコ商品)の使用・購入に努めました。 機材を手入れし出来るだけ長く使用することにつとめました。 省エネに関する情報共有し、意識・知識を活かしました。

14 実施状況等に対する自己評価

目頃から電力量の削減等の省エネ意識を持つことが出来たと思います。
